



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 藤倉化成株式会社
 コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 大輔
 (氏名) 栗原 進
 TEL 03-3436-1101

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	12,908	14.3	944	816.9	1,005	223.4	686	338.8
2021年3月期第1四半期	11,298	17.3	103	81.6	311	53.1	156	63.9

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,572百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 515百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	21.56	
2021年3月期第1四半期	4.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	53,195	37,796	65.9
2021年3月期	53,795	36,505	63.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 35,060百万円 2021年3月期 33,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		8.00		8.00	16.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,700	20.7	1,400		1,500		1,000		31.42
通期	52,500	6.1	2,800	72.8	3,000	58.1	1,900	55.7	59.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	32,716,878 株	2021年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	887,714 株	2021年3月期	887,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	31,829,164 株	2021年3月期1Q	31,829,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、持ち直しの動きも見られましたが、新型コロナウイルス感染症や世界的な半導体の供給不安の影響により先行き不透明な状況で推移いたしました。また、海外におきましても、一部の国々で新型コロナウイルスワクチンの接種が進んだことにより、経済活動の再開の動きが見られましたが、米中の貿易摩擦や半導体の供給不安、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念等もあり、引き続き予断を許さない状況で推移するものと思われまます。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億8百万円（前年同期比14.3%増）となり、営業利益は9億44百万円（同816.9%増）、経常利益は10億5百万円（同223.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億86百万円（同338.8%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、半導体不足による減産の影響があったものの、自動車の生産台数の回復や新車種への新規採用等により主力の自動車向け製品の国内での需要が堅調に推移いたしました。また、化粧品容器やホビー向け製品の需要も前年と比べて堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は61億20百万円（同37.3%増）となり、営業利益は5億81百万円（前年同四半期は営業損失50百万円）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、施工棟数の減少により新築市場向け製品の需要は前年と比べて横ばいとなりましたが、リフォーム市場向け製品の需要が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は32億40百万円（同27.2%増）となり、営業利益は2億30百万円（同509.8%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、パソコン向け製品は半導体不足による生産調整等があり、需要がやや低調に推移いたしました。スマートフォンや車載向け製品の需要が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は9億87百万円（同38.9%増）となり、営業利益は47百万円（同340.0%増）となりました。

④ 化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、世界的なテレワークの浸透により落ち込んでいたトナーの需要が回復傾向にあり、トナー用レジンの需要が堅調に推移いたしました。また、新たに開発したブロックポリマーを用いた粘着剤用樹脂が上市され売上に寄与いたしました。

この結果、売上高は10億57百万円（同17.8%増）となり、営業利益は88百万円（同379.9%増）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、液晶テレビ用途向け製品の原料販売が終了したことにより、売上高が前年を大きく下回りました。また、飛沫防止関連製品の需要が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は15億28百万円（同43.5%減）となり、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益87百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億1百万円（前連結会計年度末比1.1%）減少し、531億95百万円となりました。

① 流動資産

受取手形及び売掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ8億76百万円（同2.7%）減少し、319億81百万円となりました。

② 固定資産

有形固定資産の取得による増加などの結果、前連結会計年度末と比べ2億76百万円（同1.3%）増加し、212億14百万円となりました。

③ 流動負債

支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ18億90百万円（同13.7%）減少し、118億93百万円となりました。

④ 固定負債

リース債務の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2百万円（同0.1%）減少し、35億5百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定及び利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ12億91百万円（同3.5%）増加し、377億96百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.0%から65.9%へと2.9ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より37円39銭増加し、1,101円51銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

原材料価格の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、売上構成の変化、グループ全体での継続的なコスト削減施策及び活動費用の抑制等により、営業利益以下の各段階利益において前回の予想を上回る見込みとなりましたので、連結業績予想を修正しております。

売上高については北米、欧州を中心に自動車向け製品の販売が堅調に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大による市場への影響等を考慮して、前回の予想を修正しておりません。

詳細については、本日（2021年8月6日）に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,730,767	12,504,323
受取手形及び売掛金	12,866,377	11,007,559
商品及び製品	3,969,448	4,358,141
仕掛品	56,747	131,111
原材料及び貯蔵品	2,353,552	2,830,222
その他	1,031,110	1,289,810
貸倒引当金	△150,949	△140,250
流動資産合計	32,857,052	31,980,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,504,206	12,805,481
減価償却累計額	△7,010,500	△7,172,615
建物及び構築物 (純額)	5,493,706	5,632,866
機械装置及び運搬具	14,281,284	14,681,183
減価償却累計額	△11,914,060	△12,236,582
機械装置及び運搬具 (純額)	2,367,224	2,444,601
工具、器具及び備品	5,150,624	5,220,134
減価償却累計額	△4,297,945	△4,380,706
工具、器具及び備品 (純額)	852,679	839,428
土地	4,492,078	4,539,420
リース資産	703,640	727,461
減価償却累計額	△288,381	△310,693
リース資産 (純額)	415,259	416,768
建設仮勘定	198,661	128,135
有形固定資産合計	13,819,607	14,001,218
無形固定資産		
ソフトウェア	150,785	141,130
その他	812,926	844,114
無形固定資産合計	963,711	985,244
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038,212	3,043,856
長期貸付金	67,950	69,600
繰延税金資産	599,185	504,460
その他	2,888,403	3,048,190
貸倒引当金	△438,971	△438,971
投資その他の資産合計	6,154,779	6,227,135
固定資産合計	20,938,097	21,213,597
資産合計	53,795,149	53,194,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,815	6,035,503
短期借入金	2,893,770	3,084,149
リース債務	91,887	96,270
未払法人税等	168,715	129,191
未払費用	940,212	1,108,223
賞与引当金	588,057	339,814
その他	1,390,482	1,099,900
流動負債合計	13,782,938	11,893,050
固定負債		
リース債務	214,581	205,725
繰延税金負債	139,476	147,815
退職給付に係る負債	2,708,350	2,710,540
長期未払金	116,954	109,626
その他	327,886	331,294
固定負債合計	3,507,247	3,505,000
負債合計	17,290,185	15,398,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	24,027,316	24,459,000
自己株式	△524,976	△524,976
株主資本合計	33,894,660	34,326,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,672	465,558
為替換算調整勘定	116,986	784,401
退職給付に係る調整累計額	△618,348	△516,293
その他の包括利益累計額合計	△24,690	733,666
非支配株主持分	2,634,994	2,736,453
純資産合計	36,504,964	37,796,463
負債純資産合計	53,795,149	53,194,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	11,298,257	12,908,307
売上原価	8,056,120	8,741,763
売上総利益	3,242,137	4,166,544
販売費及び一般管理費	3,139,183	3,222,513
営業利益	102,954	944,031
営業外収益		
受取利息	16,508	6,053
受取配当金	23,083	23,020
固定資産賃貸料	18,241	17,986
為替差益	160,930	-
その他	25,339	54,066
営業外収益合計	244,101	101,125
営業外費用		
支払利息	8,173	8,711
為替差損	-	21,604
固定資産除却損	20,743	1,071
その他	7,352	8,836
営業外費用合計	36,268	40,222
経常利益	310,787	1,004,934
税金等調整前四半期純利益	310,787	1,004,934
法人税、住民税及び事業税	107,580	166,784
法人税等調整額	△1,515	99,154
法人税等合計	106,065	265,938
四半期純利益	204,722	738,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,310	52,679
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,412	686,317

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	204,722	738,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,170	△11,686
為替換算調整勘定	△730,530	758,091
退職給付に係る調整額	29,828	102,055
持分法適用会社に対する持分相当額	△62,140	△15,940
その他の包括利益合計	△719,672	832,520
四半期包括利益	△514,950	1,571,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△481,778	1,444,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,172	126,843

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、代理人に該当する取引について、従来は他の当事者が提供する財またはサービスと交換に受け取る額を収益として認識しておりましたが、他の当事者が提供する財またはサービスと交換に受け取る額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,457,809	2,546,669	710,573	897,570	2,685,636	11,298,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	25	19,447	19,472
計	4,457,809	2,546,669	710,573	897,595	2,705,083	11,317,729
セグメント利益又は損失(△)	△50,222	37,662	10,770	18,329	86,666	103,205

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,205
セグメント間取引消去	△251
四半期連結損益計算書の営業利益	102,954

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,119,854	3,240,172	986,657	1,057,034	1,504,590	12,908,307
外部顧客への売上高	6,119,854	3,240,172	986,657	1,057,034	1,504,590	12,908,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	65	23,435	23,500
計	6,119,854	3,240,172	986,657	1,057,099	1,528,025	12,931,807
セグメント利益又は損失(△)	580,818	229,678	47,385	87,952	△1,710	944,123

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	944,123
セグメント間取引消去	△92
四半期連結損益計算書の営業利益	944,031

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

これによる、報告セグメントへの影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。